

タイ国科学技術博覧会への日本の研究機関等の出展

1. タイ科学技術省 (Ministry of Science and Technology) 及びタイ国立科学博物館 (National Science Museum) は、11月14日 (9時～) から25日まで、ノンタブリの IMPACT Exhibition & Convention Center において「科学技術博覧会 2015 (Science and Technology Fair)」を開催します。

同博覧会は、例年 100 万人以上の来場者を誇るタイ国最大規模のイベントです。同イベントには日本を含む各国別のパビリオンが設けられ、各国の科学技術開発の成果をタイ国民に伝える場となっております。

【参考】http://www.nsm.or.th/english/index.php?option=com_content&view=featured&Itemid=189

本年の日本パビリオン参加予定組織及び主な展示内容は以下のとおりです。
つきましては、在留邦人の皆様のご来場をお待ちしております。

組織名	主な展示内容
① 内閣府宇宙戦略室 (展示協力：国土地理院、国土交通省、産業技術総合研究所 (AIST)、和歌山大学、北海道大学、三菱電機、コマツ、西尾レントオール、ジェノバ、PASCO)	日本が打ち上げ 2017 年には本格運用を行う準天頂衛星 (QZSS) の活用を念頭に、日本の電子基準点 (GEONET) や電子基準点網を使用した高精度測位サービスを紹介する。情報化施工 (重機を無人でコントロール)、MMS (モバイルマッピングシステム) 等の民間企業の展示、マイクロ衛星や地上センサーとの融合技術など大学の宇宙技術の紹介を行う。また、は実際の電子基準点ピラーの模型(スケール 1/5)も展示する。
②「THEOS-2 プロジェクト提案日本コンソーシアム」 (住友商事、NEC、PASCO、アクセルスペース、NTT データ、リモート・センシング技術センター (RESTEC)、建設技術研究所、建設技研インターナショナル、東京大学、九州工業大学、慶應義塾大学等)	日本の産学が有する高度な地球観測衛星技術について、高性能地球観測衛星、超小型衛星、統合衛星運用・データプラットフォーム、衛星及び各種リモートセンシングの高度アプリケーション技術を紹介する。
③宇宙航空研究開発機構 (JAXA)	日本のロケット、人工衛星に関するパネル及び模型の展示、ビデオ上映を行う。専門家向け展示の他、会場に多く訪れるタイの中高校生向けの体験型展示も行う。
④東京大学 宇宙・地理空間技術による革新的ソーシャルサービス・コンソーシアム (GESTISS)	東京大学、慶應義塾大学、東京海洋大学、事業構想大学院大学及び青山学院大学で進めている国際教育プログラム (G-SPASE)の紹介を行う。また、行政及び産業界と連携した最先端の研究や人材育成を行うための宇宙・地理空間技術による革新的ソーシャルサービス・コンソーシアム (GESTISS)の活動紹介を行う。

⑤ リモート・センシング技術センター (RESTEC)	地球観測衛星 (ALOS、ALOS2) について、次の紹介を行う。 ・ リモートセンシングの原理・応用例 ・ ALOS を使ったタイ全国地図、富士山地形図 (3D、鳥瞰図) ・ 衛星技術の応用例 (農業、災害監視他)
⑥ 国際農林水産業研究センター (JIRCAS)	タイで実施中の共同研究プロジェクトについて、概要と主な研究成果をポスターと報告書の展示により紹介するとともに、成果物であるサトウキビ新品種を鉢植えで展示し、ビデオ上映を行う。
⑦ 情報通信研究機構 (NICT)	ICT (情報通信技術) における光ネットワーク技術について展示を行う。同技術は ICT の発展を加速し、生活環境やビジネス環境におけるコミュニケーションに革新をもたらす等現在の ICT の基盤となっている。今回は、光通信の基本とともに、最新の技術として、NICT の共同研究開発成果である光ファイバの伝送能力の世界記録 (2Pbit) 等について、パネルとモニタ (ビデオ上映)、マイクロスコープ等の装置を通じ展示する。
⑧ 日本学術振興会 (JSPS) バンコク研究連絡センター	JSPS 国際交流事業の紹介とともに、タイに事務所を設置する日本の大学等教育関係機関のポスター掲示を行う。
⑨ 東海大学	東海大学の研究と活動について、ポスター展示により紹介する。
⑩ 北海道大学総合博物館	企画展示「北海道とタイの海産生物と海中写真展」をタイ国立科学博物館と開催する。

(注) 現在、日本とタイは、上記①～⑤で展示予定の取組み等を通じ、「日本・タイ共同プレス声明」(2015年2月)に基づく衛星測位・電子基準点網協力など宇宙分野における協力を進めています。

2. 詳細は、下記にご連絡ください

在タイ日本大使館経済部：恩賀書記官 (hajime.onga@mofa.go.jp)